

スベリヒユ科スベリヒユの全体を生薬としたもの。熱をとりのぞき下痢を止めるほか、アトピー性皮膚炎などの熱性炎症も鎮めるとされている。



ハウレンソウの苗間に生える、肉厚の丸い葉の雑草がスベリヒユです。根が浅く細いので簡単に除草できますが、大きくなったら「金のなる木」になるのではないかと勘違いしてしまいそうです。そんな雑草と言われて邪魔にされているのが、スベリヒユという草で、細菌性の下痢に効果がある薬草なのです。

のです。

中国にこんな昔話があります。昔の中国では、貧乏な家の娘はお金で買われて、働き手として連れて行かれます。その娘は、3人兄弟の末っ子の許嫁（いいなずけ）としてもらわれてきました。お決まりのパターンとして、しゅうとめからも兄嫁からもほとんど人間扱いといえないようなひどい仕打ちをされていました。

村に赤痢が流行りだすと、嫁も下痢を始めたので、畑にしつらえたかやぶきの小屋に寝泊りするように言われました。食べるものも無く、しかたなく付近に生えていた草を煮てひもじさをしのいでいました。

しばらくすると下痢が止まり元気が出てきて、家にあいさつに行くとしゅうとめも兄嫁もすでに赤痢で死んでいました。

それ以降、馬の歯の形に似たヒユという意味で馬齒莧と名前をつけて、近所の人に食べさせてたくさんの命を救ったとのことでした。

